

講義名	英語 A (上級)			授業形態	
担当教員	吉田 浩樹	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。個別教材については、四技能を学習できる教材を使用し習得した知識や技能を活用し、国内外において様々な人と議論し、学びを深め、社会に役立てることができることを目指します。

到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。
個別教材: 場面設定や背景をもとに会話の全体的な内容を把握できることを目指します。500・700語の英文を読み、その内容を具体的に説明できることを目指します。また読んだ英文について自分の意見や感想を共有できることを目指します。

提出課題

オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

共通教材: 翌週の小テスト問題について授業内で解説します。個別教材: 各単元における文法問題を紙ベースで解答及び解説をします。

評価の基準

出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。

履修にあたっての注意・助言他

授業には積極的に参加してください。英語の基礎力 (語彙および文法) を高めるよう努力してください。規定以上の回数を欠席すると単位が認定されません。

教科書

.pre-intermediate Target!	森田彰、飯尾牧子、Gordon Myskow	金星堂	1900	978-4-7674-4c
---------------------------	------------------------	-----	------	---------------

参考図書

.なし.				

その他

必要に応じて授業中に指示します。

授業計画

1. Moodle共通教材ガイダンス	個別教材の説明
2. Moodle共通教材Set 1/	Unit 1
3. Moodle共通教材Set 2/ Moodle Quiz Set 1	Unit 1
4. Moodle共通教材Set 3/ Moodle Quiz Set 2	Unit 2
5. Moodle共通教材Set 4/ Moodle Quiz Set 3	Unit 2
6. Moodle共通教材Set 5/ Moodle Quiz Set 4	Unit 3
7. Moodle共通教材Set 6/ Moodle Quiz Set 5	Unit 3
8. Moodle共通教材Set 7/ Moodle Quiz Set 6	Unit 4
9. Moodle共通教材Set 8/ Moodle Quiz Set 7	Unit 4
10. Moodle共通教材Set 9/ Moodle Quiz Set 8	Unit 5
11. Moodle共通教材Set 10/ Moodle Quiz Set 9	Unit 5
12. Moodle共通教材Set 11/ Moodle Quiz Set 10	Unit 6
13. Moodle共通教材Set 12/ Moodle Quiz Set 11	Unit 6
14. Moodle Quiz Set 12	課題レポート
15. Moodle共通教材期末テスト	

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア: PBL (課題解決型学習)	イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材: 予習: 次の授業で解説されるセット問題をRyukoポータル上のムードルにアクセスして解く。復習: 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ (小テスト) に向けてそのセット問題を復習する。...合わせて2時間程度。個別教材: 予習: リスニングパートと文法事項の確認。復習: リスニングパートとリーディングパートの復習、またリスニングパートの音読練習と語彙の復習。...合わせて2時間程度...

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき読解・能力の範囲につながる。これらの能力は専学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS (Learning Management System) であるMoodleをコール教室、および (または)、授業外の自主学習に利用している。

実務経験の有無及び活用

備考